

①福祉

健康づくり・
医療体制の充実

東予東部3市で小児一次救急医療を広域的に運営し、小児の時間外診療を確保し、医療体制を強化します。



東予東部3市こども急患センター（新居浜市）

①福祉

子ども・
子育て支援の充実

新たに7疾患を追加し、その検査費用を助成する「拡大新生児スクリーニング検査費助成事業」を実施します。



新生児を守る新たな取り組み

①福祉

子ども・
子育て支援の充実

こども家庭センターの開設に伴い、妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的相談や訪問支援などを推進します。



専門職員が寄り添い、サポート

②自然共生

自然環境の保全

2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指し、新たに電気自動車の導入に対する助成を行います。



地球環境にやさしい電気自動車

①福祉

健康づくり・
医療体制の充実

令和7年度を「健幸元年」と位置づけ、キックオフイベント「ふるさと西条・健幸フォーラム」を開催します。



今年度からスタートする「第3次西条市健康づくり計画」

①福祉

子ども・
子育て支援の充実

えひめ人口減少対策総合交付金を活用し、出産時の給付金の年齢制限を撤廃し、給付金の増額を行います。



安心して子育てできる環境へ

令和7年度 西条市施政方針

未来へ希望ある、
まちづくりを推進

市議会3月定例会で、市長が新年度の市政運営の考え方などを表明しました。その概要を紹介します。



施政方針の詳細は▶



●住んでみたい、住み続けたいまちへ

当市では、将来像を示す総合計画を最上位計画として、各種施策・事業を推進してきました。このたび、今年度から令和16年度を計画期間とする「第3期西条市総合計画」を策定し、関係機関や市民との協働により、施策を着実に実施していきます。これにより、産業、福祉、教育が充実し、市民が希望を持って豊かに住み続けられる「快適環境実感都市」を目指します。

特に、人口の将来展望に関しては、子育て世代をター

ゲットとした移住促進施策を進めたことにより、人口減少のスピードは緩やかになっています。引き続き、質の高いアプローチを行い、「住んでみたい、住み続けたいまち」を目指します。

今年の干支「乙巳（きのとみ）」は、柔軟性や協調性を象徴し、目標に向かって進む力を表します。この年にちなみ、市民の健康と健康寿命の延伸を図るため、医療・福祉・介護の充実に向けた取り組みを進めます。

●7つの基本政策の抱負

○人口減少に対する方策

若い世代の暮らしやすさを高め、安心して結婚・出産・子育てができる環境を整備します。また、健康寿命の延伸やがん予防・治療に向けた支援を行い、Uターン・移住施策を推進します。

○産業の活性化

「オール西条」での企業誘致を展開し、デジタル人材の育成やDX推進を支援し、生産性と競争力を高めます。

○安全・安心のまちづくり

地域の安全を守るため、防災・減災対策を進め、空き家問題への対策も行います。

○医療・介護・福祉の充実

医療・介護サービスの質向上を目指し、救急医療体制の整備にも力を注ぎます。

○スポーツ・観光・文化の充実

全世代にわたるスポーツ実施を推進し、観光地の魅力発信により地域経済を活性化します。

○教育施設の整備と充実

小・中学校の教育施設を整備し、子どもたちが主体的に学ぶ環境を提供します。

○住民への支援

住民サービスを向上させ、地域の声を丁寧に聞き、地域コミュニティの活性化を支援します。

令和7年度の予算編成は、物価高騰への対応と「第3期西条市総合計画」の施策推進を重視し、限られた財源を最大限に活用することを念頭に行いました。

① 健やかに生き生きと暮らせる福祉のまちづくり

▼ 妊娠を望む夫婦や不妊症・不育症に悩む夫婦の治療費や検査費用の一部を助成

▼ 誰もが役割を持ち、人と人、人と社会がつながり、助け合いながら暮らしている「地域共生社会」の実現を目指し、高齢者福祉の充実と「地域包括ケアシステム」の深化を推進

▼ 障がいのある方が自立し安定した生活を送れるよう、啓発活動や福祉サービスの充実、雇用・就労支援にも取り組む

② 豊かな自然と共生するまちづくり

▼ 合併処理浄化槽設置費などの助成を継続し、市民が安定的に設置・維持管理できる環境を整備

▼ 老朽化した河之内浄水場の配水池を改良し、災害に強い水道施設を整備することで、安全な飲料水の安定供給に努める

7 構想実現

人口減少対策とシティプロモーションの推進

知名度向上や郷土愛の醸成を図り、活動人口の創出・拡大を通じて、潜在的なリターン移住者の発掘に努めます。



市内高校生が地域の魅力を発信

6 産業振興

観光産業の創出

いしづちエリアにおける独自の滞在コンテンツと観光客をマッチングさせるプラットフォームを構築し、交流人口や関係人口の拡大につなげます。



2月から開始した「旅は人まかせ」

5 教育文化

学校教育の充実

小中学校の児童生徒に安全安心な学校給食を安定的に提供するため、今年9月から供用予定の「東部学校給食センター」の関連工事を進めます。



東部学校給食センターの外観

4 安全安心

防災・減災対策の強化

新居浜市・四国中央市との東予東部3市の消防指令センターにおいて令和9年度末からの共同運用に向け、実施設計委託などの準備を進めます。



西条市消防本部の指令センター

3 都市整備

交通体系の整備

持続可能な交通体系を目指し、バス路線や丹原地域のデマンド型乗合タクシーの再編、小松地域への新たな導入を進めます。



地域で運行するデマンド型乗合タクシー(よりそいタクシー)

2 自然共生

自然環境の保全

省エネ性能に優れた家電製品を購入した方に対し、LOVE SAIJOポイントで支援し、脱炭素化とエネルギー費用負担軽減を図ります。



エコな生活で社会貢献

7 構想実現

行財政運営の推進

時間や場所にとらわれない手続きができる市役所の実現に向けて、窓口業務の効率化とデジタル技術活用による市民サービスの向上を目指します。



電子申請ツールによる手続きのオンライン化を拡大

7 構想実現

地域自治の推進

少子高齢化や人口減少が進む中、持続可能な地域コミュニティを構築するため、これまで取り組んできた地域自治の推進を引き続き支援します。



令和6年度は小松地区でパートナーシップ協定を締結

6 産業振興

企業活動の活性化

(株)西条産業情報支援センターが中心となり、市内中小企業のDX・GX推進を支援し、魅力度向上や、人材確保・定着の促進などを目指します。



西条産業情報支援センターが中心となり市内中小企業を支援

5 教育文化

学校教育の充実

「心豊かにたくましく生きる西条っ子」を育成するため、引き続きALTの増員を行い、英語力向上に向けた取り組みを実施します。



壬生川小学校での英語の授業

3 都市整備

住宅・宅地の整備

急増する空き家に対し、空家法などに基づく適切な対応を図るため、空き家管理データベースを整備し、情報管理を一元化して対策を強化します。



対応を急ぐ空き家の対策を強化

2 自然共生

水資源の保全

市民や事業者などで構成される「西条市地下水保全協議会」で地下水の将来ビジョンや施策を検討し、地下水の保全と適正な管理に努めます。



未来の地下水を守るために

- ▼NHK朝ドラ誘致などPR効果の高い企画にも積極的に取り組む
- 7 構想の実現に向けて
- ▼地域づくりに取り組む市民活動団体の環境を整備することで、地域の自立と活性化を図る
- ▼能登半島地震の発生などを受け、市民の地震対策意識が高まっているため、家具などの固定器具購入助成を継続
- ▼民間専門人材による空き家相談窓口を開設し、官民連携で流通促進に取り組む
- 4 災害に強く安全で安心して暮らせるまちづくり
- ▼豊かな心を育む教育文化のまちづくり
- ▼昨年の校舎外壁剥落事故を受け、耐震性や外壁改修を行い、安全な学習環境を整備
- ▼食料費の高騰に伴い、保護者の負担を軽減するため、学校給食の食材購入を助成
- ▼当市初の社会教育施設と小学校の複合化を予定している「神戸公民館」と「神戸小学校」の整備を進める
- ▼全ての市民の人権が尊重される地域社会を目指し、啓発活動や学びの場を提供
- 6 活力あふれる産業振興のまちづくり
- ▼地域のニーズに応じた支援を通じ、農地集積や耕作放棄地の解消、スマート農業の推進を図る
- ▼森林経営管理法に基づき、管理が行われていない森林の整備を実施
- ▼漁業協同組合の施設更新に助成し、漁業振興の活性化を図る
- ▼中小企業者や創業希望者に対し、省エネ設備やデジタルツールの導入費などを助成
- ▼支援機関と連携し、商業地域の維持や創業希望者への専門相談支援、既存産業の新規事業展開を支援
- ▼意欲ある事業者の商品開発や販路拡大を支援
- ▼(株)西条産業情報支援センター内の「まちの人事部」機能を活用し、市内企業の人材確保力向上と多様な人材が活躍できる環境づくりを推進